

稻

高

高



12月号

(第69号)

令和7年12月19日発行

発行元 稲取高等学校 進路課
〒413-0411 東伊豆町稻取 3012-2

3学期を充実させるために！！



早いことにもう終業式、2学期も終わりですね。冬休みに入りクリスマスや年末年始、家族や大切な人と過ごす時間が多くの時期になりますが、冬休みを満喫するばかりではなく今年1年を必ず振り返るようにしましょう。そして、新年に向けて目標を立てて下さい。

2学期は体育大会をはじめ、インターンシップや修学旅行など多くの行事を開催することができました。そのなかで学ぶことが多くあり、みなさんを成長させる糧になるものがあったはずです。良かったことや悪かったこととしっかりと向き合い成長の一歩として下さい。



1年生の皆さん、1、2学期の学校生活は充実していましたか？気持ちが緩んできているようなことはありませんか？残り3ヶ月、良い形で1年を締めくくることが出来るように、今できることに全力で取り組むようにしてください！！

2年生の皆さんにとって3学期は3年0学期とも言われ、3年生になる準備をする学期になります。受験や就職など自分自身の進路選択をしなければならない3年生に向けて、気持ちを切り替えるための冬休みにしてください！！

3年生の皆さんは高校卒業が刻一刻と迫ってきました。残りの学校生活が次のステップへつながるよう充実した学校生活を送るようにしてください！！

先月号にも書きましたが1・2年生のうちから学校生活をいかに充実させ過ごしていたのか、試験対策など進路実現に向けてどのように準備を進めてきたのかが試験の合否の分かれ目になります。3年生になってから頑張れば良いでは手遅れになってしまいます！！成績はもちろんですが、欠席の日数、高校生活で成長したことなどの積み重ねが進路実現のために今後、更に大切になっていくと思いますので1年間のまとめの学期になる3学期を充実させるようにしてください。

12・1月の予定



12/19(金) 終業式・大掃除・LHR

12/22(月)～24(水) 成績不振者指導

12/25(木)～26(金) 成績不振者追試験

12/29(月)～1/2(金) 学校閉鎖

1/6(火) 始業式・大掃除

1/6(火)～9(金) 進路希望調査(1・2年生)

1/7(水) 1・2年生課題テスト(3限まで)・3年生平常授業

1/10(土) 2年公務員模試(希望者)

1/13(火)～19(月) 面接週間(45分授業)

1/17(土)～18(日) 大学入学共通テスト(希望者)

1/17(土) 1・2年総合学力テスト(希望者)



1/6から3学期がスタートします。寒い日が続きますが体調を崩すことがないようにしましょう！！くれぐれも初日から欠席することがないように！！

3年生の進路決定状況

11、12月に入り四年制大学や短期大学の入試結果が学校に届くようになりました。就職希望者や専門学校進学希望者に続き多くの生徒が合格を勝ち取ることができます！！

なお、学校求人による就職希望者については、ほぼ内定（21名中20名）を勝ち取ると同時に、本年度も公務員採用試験への合格者を出すことができました！！

速報

(12月18日現在)

四年制大学	神奈川工科大学・国際武道大学・城西大学・拓殖大学・帝京平成大学 流通経済大学
短期大学	希望者は全員合格
専門学校	横浜こども専門学校
公務員	熱海市役所

冬休みの課題について



夏休みに引き続いて、冬休みを利用してポートフォリオの記入をしてください。特に1、2年生の皆さんにとって、ポートフォリオは志望理由書の作成や面接試験で話す内容を考える上で大切な資料になります。後で、読み返した際に困ることが無いようにしっかりと記入するようにしましょう！！

ポートフォリオ（1・2学期の振り返りシート）は両面印刷になっています。夏休み明けに提出したポートフォリオを担任の先生から返却してもらい、2学期を振り返って記入するようにしてください。3学期は1年の総まとめの学期になります。学校生活を振り返り3学期をどのように生活していくのか自分自身の目標を立てるようしましょう！

2学期への自分へのメッセージも記入してあるはずです。そのメッセージに対しで自分がどのように取り組んだのかも思い出してみましょう！！



稻取高校 Instagram で振り返ってみても良いかと思います！



2学期は様々な行事がありました。一つ一つの行事をしっかりと振り返り、ポートフォリオを完成させてください！

入試の基礎知識（大学・短大編）



3年生の進学状況ですが、専門学校の入試のピークが過ぎ、11・12月に入り大学、短大入試のシーズンがやってきます。4月号では専門学校のAO入試についての特集を組みましたが、今月号では大学入試について特集を組みました。1・2年生で進学を考えている人にも参考になる特集だと思いますので必ず読むようにしてください！！



大学入試の種類

(1) 一般選抜

高校卒業あるいは同等の資格を持つ者であれば、誰でも受験ができる入試です。国語・数学など教科ごとの試験の成績によって合否判定を行う仕組みとなっています。国公立大学は大学入学共通テストの受験が必要になります。また、大学入学共通テストを使って合否判定を行う私立の大学・短大も多くなってきました。大学入学共通テストの出題内容は、どの科目も授業の範囲内の標準的なものとなっていますので模試などで自分の学力を確認し実力をつけていく必要があります。



(2) 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜は一般選抜と並ぶ大学入試で本校の生徒の多くがこの選抜制度を利用して大学や短大へ進学しています。一般選抜との一番の違いは大学が求める出願条件を満たし、高等学校長の推薦を得ることが必要であるということです。

①指定校型（指定校推薦）

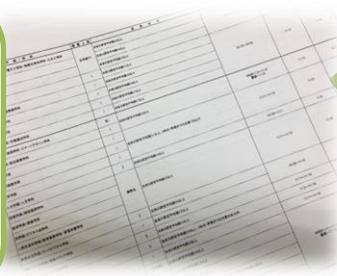
この制度は、私立大学や短大で多く実施されている選抜方法で、大学側が指定する高校の出身者でなければ出願できない反面、一旦、高校内の推薦が得られれば、高い確率で合格できます。なお、指定校型の入試は国公立大学では実施されていません。



近年、大学側で指定校推薦を依頼する高校を再考する動きや、高校での出席状況を問わない代わりに、推薦に必要な評定平均などを高く設定する大学も見受けられます。本校でも本年度は指定校の依頼が無かつた、昨年度に比べて推薦に必要な条件が厳しくなったということが実際にありました。



本年度、本校に届いている指定校一覧です。必要な人は進路課の先生に声をかけてください！



志望する学校の基準に達しているか1・2年生のうちから確認しておきましょう！

②公募型（公募推薦）

この制度は、大学の定めた推薦基準を満たす者なら原則として誰でも出願できます。書類審査や小論文、面接などにより試験が行われますが、基礎的な学力試験を課したり、学科によっては実技を課す場合もあります。国公立大学でも全体の9割以上の大学が学校推薦型選抜を実施していますが、私立大学に比べ募集人員が少ないうえ、高いレベルの学力や知識が必要とされています。

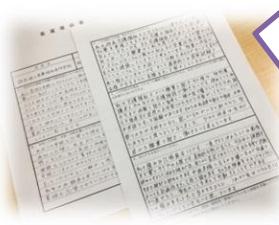
また、私立大学では自分の個性や能力・特技などをアピールする「自己推薦型選抜」、スポーツや文化活動で優秀な成績を収めたこと、委員会やボランティア、地域活動などをアピールして選抜を行う「公募制特別推薦型選抜」があります。

推薦基準について

推薦型選抜とあるようにこの制度を利用するためには「推薦」が必要となります。この「推薦」とは各学校から示される評定平均や成績や欠席日数などの基準を満たしていることはもちろんですが、それ以上に「校長先生からの推薦」が必須条件になります。本校では推薦にふさわしい人物かを判断するために志望理由書を作成し、管理職の先生方に面接を実施していただいている。志望理由書は「高校生活について」「進学したい学校を選んだ理由」「進学後に何を学びたいか」「卒業後どのような仕事に就きたいか」「自己PR」の5つから構成されています。



公募型の推薦基準については各学校の入試要項で確認しましょう！要項は各自で請求してください。



校長先生から推薦をいただくために必要な志望理由書。熱意を伝えるためにしっかり記入しましょう！

10月

11月

12月

1月

2月

私立大学
の学校選
推薦型
選抜スケ
ジュール
(例)

出願期間

試験日

合格発表

入学手続

がんばれ
受験生！



(3) 総合型選抜(旧AO入試)

各大学に設けられたAO(アドミッションオフィス)に基づき、詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせることによって、能力や適性、意欲などを総合的に判定する入試方法です。出願条件は、推薦入試ほど厳しくはありません。他の入試制度と比べエントリー時期が早いのも特徴です。

学校推薦型選抜、総合型選抜は各学校が開催するOCやセミナーに参加していることが出願条件になっていることもあります。気が付いた時には手遅れだった…ということが無いように注意しましょう。

私立大学
の総合型
選抜スケ
ジュール
(例)

6月

7月

8月

9月

10月

11月

エントリー

セミナー
相談会



出願

選考

結果通知

短期大学入試の種類

短期大学の入試にも、大学入試と同じように「一般選抜」「学校推薦型選抜」「総合型選抜」があります。一般選抜は、1月の上旬から出願が始まり、2月ごろに試験のピークを迎えるところが多いようです。学校推薦型選抜は、11月以降に出願が始まり、11月から12月上旬までに試験を実施するパターンが多いです。また、総合型選抜は一般選抜や学校推薦型選抜と異なり、試験自体が長期間にわたって行われる場合もあります。